

はじめに	1
------	---

第1編 東北地方の地形と気象	3
----------------	---

第1章 東北地方の地形（小松原委員）	5
1 東北地方の沿岸都市の地形概観	5
2 各都市の地形	6
第2章 東北地方の気象（吉川委員）	9
1 クリモグラフによる気候特性	9
2 火災発生時の気象状況	10
(1) 戦後の東北地方の大火	10
(2) 火災と気象条件	14
3 火災危険度の試算	16

第2編 前近代における北部日本海域の大火	21
----------------------	----

第1章 青森県域（長谷川委員）	23
1 青森町の地理的・歴史的特徴	23
2 青森町における主な大火の実態と特徴	25
(1) 明和3（1766）年の大地震による大火	25
(2) 天明3（1783）年の青森大火	26
(3) 嘉永6（1853）年の大町大火（別名米百火災）	28
(4) 安政6（1859）年の大火	31
(5) 万延2（1861）年の大火	33
3 消防体制と大火後の救恤活動—藩政と民衆—	34
第2章 秋田県域（脇野委員）	38
1 久保田、土崎湊の地理的・歴史的特徴	38
2 久保田、土崎湊における主な大火の実態と特徴	41
(1) 慶安・延宝年間の久保田大火	41
(2) 享保15（1730）年の久保田大火	41

(3) 文化年間の土崎港大火	42
3 大火と消防	43
4 大火と都市計画	46
第3章 山形県域（小松委員）	48
1 酒田湊の地理的・歴史的特徴	48
2 酒田湊における主な大火の実態と特徴	50
(1) 明暦2（1656年）年の大火	50
(2) 享保11（1726年）年の片町火事	52
(3) 明和9（1772年）年の片町火事	53
(4) 天明5（1785年）年の下袋小路火事	54
(5) 文政5（1822年）年の染屋小路火事	55
3 御用金と町用金から見る大火後の救済活動	56
(1) 庄内藩の救済活動	56
(2) 酒田町商人による独自の救済活動	57

第3編 近現代における北部日本海地域の大火 59

第1章 青森県域（河西委員）	61
1 青森市の地理的・歴史的特徴	61
2 青森市における主な大火の実態と特徴	62
(1) 1872（明治5）年の博労町・下新町大火	62
(2) 1910（明治43）年の青森大火	65
(3) 1926（大正15）年の浪打大火	73
(4) 1940（昭和15）年の古川大火	75
(5) 1947（昭和22）年の北金沢大火	75
3 大火後の都市計画と防災組織	76
第2章 秋田県域（脇野委員）	78
1 秋田市、能代市の地理的・歴史的特徴	78
(1) 秋田市	78
(2) 能代市	80
2 秋田市、能代市における主な大火の実態と特徴	81
(1) 1886（明治19）年の秋田町大火（俵屋火事）	81
(2) 1949（昭和24）年の能代市大火（第1次）	82
(3) 1956（昭和31）年の能代市大火（第2次）	84

3 大火後の防災と都市計画	87
(1) 秋田市	87
(2) 能代市	88
第3章 山形県域（小松・小松原委員）	89
1 酒田市における主な大火の実態と特徴	89
(1) 明治庄内地震の地震像	89
(2) 庄内地震の被害概況	91
(3) 庄内地震による酒田町大火	93
(4) 地震後の救援活動	94

第4編 1976（昭和51）年の酒田大火—総合的把握— 97

第1章 大火の経過（吉川・小松委員）	99
1 酒田大火と気象	99
2 火災の進捗と火災防御	101
3 酒田大火の知見と今後の課題	107
第2章 被害の実態と市民生活（小松委員）	109
1 被害の状況	109
2 火災後の対応と市民生活	112
第3章 大火復興への歩み（小松委員）	119
1 復興への序章	119
2 困難を極めた区画整理事業	122
3 本格的な復興へ	125
第4章 復興後の防災対策と現況（小松委員）	132
1 大火後の防災対策	132
2 新たな街づくりに生かされた大火後の区画整理	133
3 市民の防災意識の現状と将来への課題	133

第5編 酒田大火並びに北部日本海地域都市の大火の教訓 135

第1章 前近代及び近現代における北部日本海地域都市の大火の特徴と教訓（多田委員）	137
---	------------

1 前近代における北部日本海地域都市の大火の特徴と教訓	137
2 近現代における北部日本海地域都市の大火の特徴と教訓	139
第2章 酒田大火の教訓(多田委員)	141
1 燃えない街づくり	141
(1) 酒田市の復興計画と復興事業	141
(2) 復興にともなう防災対策の向上	142
2 応急対応力	143
(1) 応急対应用設備・資材の高度化	143
(2) 非常時指揮・管理	143
(3) 応急対応者の安全確保	143
3 住民の防災意識	144
4 住民への広報・情報伝達	144
資料 (大火のフォークロア・データベース)	147
大火のフォークロア(丸谷)	149
火にまつわる言いつたえ	149
家を建てる時の防火対策	150
火伏せのお守り	151
火事が起こりやすい日	152
酒田大火並びに北部日本海地域都市の大火データベース(阿部委員)	154

図表等目次

口絵 1	1976年9月26日撮影航空写真	i
口絵 2	1976年10月30日 午前の航空写真	i
口絵 3	10月29日 消防隊到着直後、午後6時頃の火元「グリーンハウス」	ii
口絵 4	10月29日 午後 7 時30分ごろ、焼け落ちる寸前の火元「グリーンハウス」	ii
口絵 5	10月29日 午後 7 時ごろ、5 階から東方向に盛んに火を噴く「大沼デパート」	iii
口絵 6	10月29日 午後 7 時ごろ、火元や大沼デパートから噴出する大型の火の粉	iii
口絵 7	10月30日 午前10時ごろの中町 1 丁目地内（市役所屋上より写す）	iv
口絵 8	10月29日 午後 9 時ごろ、中町 2 丁目地内、焼け落ちた大規模映画館「中央座」	iv
口絵 9	10月30日 午前 3 時30分ごろ、新井田町を焼き、新井田川に迫ろうとする火災	v
口絵10	明暦 2 年の焼失区域図	v
口絵11	1894（明治27）年10月22日庄内地震火災焼失区域図	vi
口絵12	小羽葺と茅葺の混在（秋田風俗絵巻）	vi
図 1－1	東北日本の地形と本報告で取り上げる都市	5
図 1－2	青森周辺の地形概観	6
図 1－3	能代周辺の地形概観	7
図 1－4	秋田周辺の地形概観	7
図 1－5	酒田周辺の地形概観	8
図 1－6	東北地方と東京、札幌のクリモグラフ	10
表 1－1	戦後の東北地方大火の一覧（消失 3 ha以上）	11
表 1－2	季節別発生件数	12
表 1－3	時間帯別発生件数	12
表 1－4	天気別発生回数	13
表 1－5	風速段階別発生件数（最大平均風速）	13
表 1－6	湿度段階別発生件数	14
表 1－7	雨なし日数（1 mm未満）と強風日数（10m/s以上）	14
表 1－8	火災危険度（自然条件のみ）	17
図 1－7	時間別出火件数	18
図 1－8	出火と気象条件の関係	18
図 1－9	林野火災多発時の気象モデル	18
図 2－1	明和の津軽地震の震度分布	25
図 2－2	「嘉永 6 年の青森町大火図」	29
図 2－3	久保田城下略図	39
表 2－1	享保15年久保田大火の被害状況	41
図 2－4	土崎湊絵図（元文年中）	43

図 2－5	伊東家文書大明暦の酒田町絵図	51
表 3－1	町別焼失戸数	63
表 3－2	青森町の消防組組織	65
表 3－3	罹災戸数及び人口調	67
表 3－4	青森大火死傷数・家畜数	68
表 3－5	総損害調	68
表 3－6	主な焼失建物	68
表 3－7	町別の救護舎の収容人員	69
表 3－8	青森大火の救護活動経費	70
図 3－1	1920年代はじめの青森市賦課戸数	74
図 3－2	庄内平野の地形分類と明治庄内地震時の家屋倒壊率	90
図 3－3	庄内平野東縁部・酒田市生石地区で行われた反射法地震探査の結果	91
図 4－1	酒田大火焼失区域図	99
図 4－2	酒田大火の事象一覧	100
写真 4－1	出火から30分前後の火元グリーンハウス	101
写真 4－2	火を噴出す大沼デパート	102
写真 4－3	焼け落ちる寸前の火元グリーンハウス	102
写真 4－4	市役所屋上より午後 8 時半頃中町 2 丁目付近延焼中の写真	103
写真 4－5	10月30日二番町より写した中町 2 丁目地内	109
写真 4－6	11月 3 日の中町 2 丁目地内のアーケードの惨状	113
写真 4－7	自衛隊・消防団によるガレキの撤去	114
写真 4－8	寄せられた救援物資の山	115
写真 4－9	義援金の交付	116
写真 4－10	応急仮設住宅の設置	117
写真 4－11	柳小路仮設店舗の設置	118
写真 4－12	区画整理事業個別相談会	123
写真 4－13	区画整理事業住民説明会	124
写真 4－14	がれき撤去が終わった被災地	126
図 4－3	区画整理仮換地図	127
写真 4－15	昭和52年10月初旬大通り仮設店舗と区画整理終了後の一番町	128
図 4－4	セットバック説明図	129
写真 6－1	火災予防の鰻絵と「龍」の字 秋田県秋田市太平	150
写真 6－2	火の神（上）と水の神（下）の札 秋田県大仙市	151